

## 中国内モンゴル自治区アラシャン北寺 (Alxa Beisi) における文化的景観に対する住民意識

### Residents' Attitude Towards Cultural Landscape at Alxa Beisi in the Inner Mongolia Autonomous Region in China

韓国栄<sup>1\*</sup>, 古谷 勝則<sup>1</sup>

Guorong Han<sup>1\*</sup>, Katsunori Furuya<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 千葉大学大学院園芸学研究科

<sup>1</sup> Graduate School of Horticulture, Chiba University

#### はじめに

中国内モンゴル自治区のアラシャン北寺では、文化的な景観を観光事業に利用している。本研究では、文化的な景観に対する地域住民の評価を明らかにすることを目的とした。北寺は、1804年に創建された。現在、15の寺院と100以上の建物がある。北寺の僧侶の数は、1869年に993名いたが、2007年現在6名にまで減少している。僧侶が少なくなることにより、寺院として維持することが難しくなった。北寺は、現在、観光事業に利用されている。

#### 研究方法

2007年8月と2012年8月に現地調査を実施した。2012年8月に、北寺の周辺に住むモンゴル民族の住民に意識調査をした。意識調査は面接方式で、271名の回答を得た。調査内容は、回答者の属性と北寺に対するイメージ、観光開発についての考え、生態旅行 (ecotourism) への期待であった。分析手法としてカイ二乗検定を使用した。

#### 結果と考察

北寺周辺は2002年に、国家森林公园 (National Forest park) が指定された。この指定で、北寺が公園範囲に含まれ、生態旅行 (ecotourism) が始まった。自然保護規制と観光利用から、2002年から北寺への立ち入りが有料化された。無料開放は、年に1回のお祭りの日のみになった。北寺周辺の住民の職業も、遊牧から、旅館経営や土産物店などに变化した。

回答者の性別は、男性135名、女性136名であった。回答者の年齢は、10代が45名、20代が59名、30代が48名、40代が72名、50代が30名、60代以上が16名であった。回答者の職業では、学生が88名、農民が70名、公務員55名であった。自宅から北寺への平均的な時間は、車で平均44分であった。

北寺を訪問する回数は、年に1~3回が63%を占めた。また、北寺にまったくいかないのが18%であった。訪問目的では、祈り (72%)、イベント (52%) と回答した。北寺へのイメージ評価で、「とても当てはまる」が半割を超えたのは、「北寺は仏教聖地である (76%)」、「北寺は魅力的 (66%)」、「僧侶と交流できる (51%)」であった。北寺は現在でも、モンゴル民族にとって魅力的な仏教聖地であることがわかる。

「観光地としてふさわしい」の設問では、「とても当てはまる」「当てはまる」「やや当てはまる」の合計が94%である。同様に、観光開発について結果を見ると、「仏教聖地の静寂の破壊 (85%)」、「環境破壊 (84%)」、「環境保護宣伝活動 (80%)」であった。地域住民は、観光地としてふさわしいと感じているが、仏教聖地の静寂と環境が破壊されていると考えていた。さらには、北寺の観光開発を環境保護宣伝活動と考えていた。複数回答で質問した観光開発についての考えでは、「モンゴル民族文化を伝える (55%)」、「仏教文化を伝える (54%)」、「自然体験地としては環境保護の大切さを伝える (36%)」、「地域の経済収入を上げる (26%)」と回答した。地域住民は、観光開発は仏教文化とモンゴル民族文化を伝える手段と考えていた。複数回答の北寺への期待では、「祈りの場 (69%)」、「自然体験・緑化ボランティアの場 (61%)」と回答した。これらから、地域住民は北寺を祈りの場以外に自然体験・緑化ボランティアの場としても捉えていた。カイ二乗検定を使用して分析した結果としては有意差が見られた。「北寺は魅力的」の設問で、年齢と有意差がみられた。年齢が若いほど、現在の北寺の魅力の評価が高かった。高齢者は北寺周辺の自然環境の悪化と新しい建築物に対して、伝統的なアイデンティティを失っていると考えていた。

キーワード: 文化的景観, 住民, 自然環境, 地域固有文化, エコツーリズム, 歴史

Keywords: Cultural landscape, Residents, Natural environment, Regionally specific, Ecotourism, History